

災害時、上下水道を守る対策

平成28年の熊本地震から9年。熊本市では、上下水道施設の耐震化やマンホールトイレの整備など、ライフラインとして重要な施設の防災対策を進めています。ご家庭でもできる災害への備えとして、飲み水の備蓄や生活用水の確保、簡易トイレの準備等を再確認しましょう。



100th
ANNIVERSARY
熊本市水道100周年

断水時に4m³の水道水を確保 貯水機能付給水管の整備

近所にもあるかな？



熊本市上下水道局前の貯水機能付給水管

貯水機能付給水管は、平時は通常の給水管ですが、地震等災害の断水時はタンクの容量分4m³の水道水が確保され非常用の飲料水として利用できます。

熊本市内の小中学校に

※令和6年度末時点
51基を整備

家庭での備え

飲み水などの備蓄を！

飲料水は、大人で1日あたり3リットルが必要とされています。3リットル×家族の人数×3日分を目安に飲み水の備蓄をおすすめします。



国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」受賞 マンホールトイレの整備

熊本市では、災害時に断水した際、避難所や防災拠点でのトイレ確保を考慮し、マンホールトイレの整備を進めています。具体的には、熊本市地域防災計画で避難所として位置づけられている市内の小中学校や防災拠点のうち、下水道区域にある施設を対象に設置しています。これにより、断水時にもトイレの確保がスムーズに行えるようになっています。



計画的に設置中！

熊本市内の
小中学校88校に
※令和6年度末時点
440基を整備



マンホールトイレ・
貯水機能付給水管
のある避難場所は
こちら

